

平成25年度
第2回上野原市交通バリアフリー基本構想策定協議会
議事要旨

日 時：平成26年1月24日（金） 午後1時30分～午後4時

場 所：上野原市もみじホール 2階 会議室2

出席者：1) 上野原駅周辺地区の検討 委員：26名（うち5名代理、1名欠席）

2) 四方津駅周辺地区の検討 委員：25名（うち5名代理、2名欠席）

（事務局）

都市計画課：井出、曾根、上條

コンサルタント：八千代エンジニアリング株式会社 別府、富樫

（傍聴人）報道機関2名、その他4名

協議会（次第）

1. はじめのことば（都市計画課長）

2. 会長あいさつ

3. 議事（会長議長就任）

（1）上野原駅周辺地区の検討・・・・・・・・・・資料1

（1）－1 バリアフリーアンケート調査結果の報告

（1）－2 基本的な方針

（2）四方津駅周辺地区の検討・・・・・・・・・・資料2

（2）－1 バリアフリーアンケート調査結果の報告

（2）－2 基本的な方針

（3）その他・・・・・・・・・・資料3、資料4

（4）議長解任

4. その他

5. おわりのことば（副会長）

資 料：

資料1 上野原駅周辺地区の検討

1－1 上野原駅周辺地区バリアフリーアンケート調査結果（概要）

1－2 基本的な方針

資料2 四方津駅周辺地区の検討

2－1 四方津駅周辺地区バリアフリーアンケート調査結果（概要）

2－2 基本的な方針

資料3 策定までのながれ

資料4 バリアフリー点検について

参考資料1 上野原駅周辺地区バリアフリーアンケート調査結果及び調査票

参考資料2 四方津駅周辺地区バリアフリーアンケート調査結果及び調査票

参考資料3 特定事業の定義

◆議 事

【平成25年度 第2回上野原市交通バリアフリー基本構想策定協議会】

1. はじめのことば

(都市計画課長)

- ・本日はご多忙の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。定刻になりましたので第2回上野原市交通バリアフリー基本構想策定協議会を始めさせていただきます。

2. 会長あいさつ

(飯島会長)

- ・本日はご多用の中、また寒い中ご参集いただき誠にありがとうございます。
- ・本日は、昨年末に実施しましたバリアフリーアンケート調査の報告を行い、皆様に色々な角度からご検討いただきたいと思います。
- ・その後、これからの協議の基本的な方針について確認したいと思いますので、活発な協議を行っていただきたいと思います。なお、本日は（上野原駅周辺地区と四方津駅周辺地区の）2つの部会を行いますので時間制約がある中、皆様にご協力をお願いいたします。

3. 議事（会長議長就任）

(1) 上野原駅周辺地区の検討

(議長)

- ・それでは議事に入らせていただきたいと思います。
- ・議事に先立ちまして、3つほど確認させていただきます。
- ・1つ目は、この会議は27名の委員のうち、本日、代理出席の方も含めて出席者26名で過半数を超えていますので成立していることを確認いたします。
- ・2つ目は、前回の会議で原則公開とご承認いただきましたので、本日の会議より一般の方や報道機関の方が傍聴しておりますので、あらかじめご承知おき下さい。
- ・3つ目ですが、「上野原市交通バリアフリー基本構想策定協議会運営規程」第14条第2項の規定に基づき、議事録に署名する方を委員の中から2名選出したいと思います。事務局より案がありましたら宜しく申し上げます。

(事務局)

- ・それでは、事務局の方からご提案させていただきます。本日お配りいたしました名簿をご覧いただきたいと思います。会議毎に名簿順で上から2名ずつお願いしたいと考えております。

今回につきましては、名簿順に長坂幸夫委員と関戸将夫委員にお願いしたいというのが事務局からのご提案でございます。ご審議の程、宜しく申し上げます。

(議長)

- ・今のご提案について委員の方々、ご承認いただけますか。
～ 委員一同、異議なし ～
- ・それでは、委員の皆様にご承認いただきましたので、長坂幸夫委員、関戸将夫委員にお願いしたいと思います。宜しく申し上げます。

(1) ー1 バリアフリーアンケート調査結果の報告

(議長)

- ・ それでは、お手元の資料の次第に沿って、議事を進めて参りたいと思います。
- ・ 最初に、「上野原駅周辺地区の検討」から始めたいと思います。
- ・ バリアフリーアンケート調査結果について、報告をお願いします。

(事務局)

- ・ 資料 1 ー 1 上野原駅周辺地区バリアフリーアンケート調査結果（概要）の説明
＜スライドにて目的、調査対象範囲、概要について説明＞

アンケート調査の目的としては、バリアフリーのまちづくりを重点的かつ一体的な推進を図るため、高齢者や障害者等がよく利用する施設が集積し、その間の移動が通常徒歩で行われる地区（駅を中心に半径 500m 圏程度）において、

○生活関連施設（よく利用する施設）

○生活関連経路（施設と施設をつなぐ経路） を設定します。

このため、アンケート結果より

○当市が考える生活関連施設、生活関連経路候補における課題の抽出

○市民が日常的に利用されている施設であり、バリアフリー法で特定事業として位置づけることが可能と思われる施設や取組などの抽出

を行います。

この作業により、4月に予定しているバリアフリー点検時の対象施設、経路を設定します。

次に、アンケート調査結果の概要ですが、
実施期間は、平成 25 年 11 月 14 日～平成 25 年 12 月 9 日で
調査対象は、

- 上野原市区長会、上野原地区区長会、島田地区区長会、
巖地区区長会に配布数 60
- 上野原市老人クラブ連合会に配布数 10
- 上野原市身体障害者福祉会に配布数 10
- にこここママクラブに配布数 10

に上野原駅周辺地区、四方津駅周辺地区の両地区のアンケート票をセット配布し、どちらか 1 地区選択または両地区選択を判断して回答いただくよう依頼しました。

回収数は、上野原駅周辺地区 30 票、四方津駅周辺地区 27 票となっています。

なお、バリアフリーアンケートの対象区域については、第 1 回協議会での意見を踏まえ、アンケート記入用紙の地図範囲を駅から 1km 圏域に拡げて調査実施しました。

(議長)

- ・ 委員の皆様からご意見等があればお願いします。

(委員)

- ・ バリアフリー化した南口が整備されて駅前広場が出来るとか、市内の歩道が整備されて良くなること等が期待されるが、これらが実現した後もどうしても残るの

が北口の段差の問題だと思えます。

- ・資料1－2の基本的な考え方に、駅北側は高低差があり課題となっているとしているが、道路の勾配緩和等が困難な状況にあり、バリアフリールート確保は困難と書いて終わらせている。
- ・市民は、あの階段に長年苦しめられており、電車を降りてもバスにもタクシーにも乗れず、取り残されるとあの階段を登ることとなります。穏やかな市民が荒んだ気持ちになり、これが原因で、北口斜面の階段手すりの破壊や上野原インターチェンジ入口から駅北口へ行く階段入口付近の歩道に置かれた自転車を斜面に投げ捨てるなどの破壊行為につながっているのではないかと思います。
- ・階段脇の建物がなくなり空き地ができてはじめていますので、エスカレーター、エレベーターを整備するなど有効活用してほしいと思います。

(議長)

- ・ありがとうございました。基本的な方針の記載内容については、次の議題で検討いただくとして、北口のバリアフリーも充実させた方がよいというご意見でした。

(議長)

- ・アンケート調査結果には載っていないご意見や、管理者の方々からのご意見等はありませんか。

(委員)

- ・貴重なご意見を受け止めさせていただきたいと思います。また、駅については上野原市との調整もあるので必要があれば検討していきたいと思います。

(議長)

- ・道路を管理されている国土交通省からのご意見はありませんでしょうか。

(委員)

- ・国道20号を管理していますが、アンケートでご要望いただいている歩道が狭いということですが、必要性については感じているところで、改めて認識しています。
- ・歩道の拡幅については、皆様の用地をご提供などご協力をいただきながら進めていくこととなりますので、時間が掛かることとなりますが検討していきたいと思えます。

(議長)

- ・関東運輸局からのご意見はありませんでしょうか。

(委員)

- ・私どもの参画目的は、策定した基本構想を如何に実現させるか、また、ハード面だけでなく、思いやりの気持ちを持つ心のバリアフリーを浸透させていくことを目指していますので、このような観点から意見、提案していきたいと考えています。

(委員)

- ・主要地方道四日市場上野原線の中央自動車道の陸橋に歩道がないので、是非整備してほしいと思えます。

(委員)

- ・国道は歩道拡幅について民地側の協力をとのお話でしたが、県道の歩道拡幅についての考え方をお聞かせいただきたいと思えます。

・また、ノンステップバスの導入の課題もありましたが、現在どのような状況で、どのように考えているかをお聞かせいただきたいと思います。

・もう一つ、鉄道駅舎の橋上化についてお考えを聞かせていただきたいと思います。
(委員)

・県道の歩道拡幅の進め方についてですが、地域全体の中での重要性を判断しながら、順々に進めていくのが基本的なやり方です。歩行者の通行量なども参考にしていっていきとなります。

(委員)

・運行管内である範囲では、上野原市だけでなく当社の本社のある富士吉田市の方でもお年寄りが増え、富士山が世界登録遺産に登録されるなど、ノンステップ化のご要望が高くなっており応えていきたいが、金額的にも1台5千万円程度するので簡単には導入できない状況です。皆様からのご要望も多く聞いていますので、本社の方へ挙げていきたいと思います。

・また、北口駅前にバスが占領しているというご意見がありましたが、出来るだけ長時間停まらないように別の場所で待機するなど配慮し努力をしております。

(委員)

・JR単独で駅舎を改良するのは難しい状況であり、まちづくりの中で自治体による費用負担のもと駅舎を改良したいという要請があれば市と調整していきたいと考えています。

(議長)

・今回のアンケート調査は、身体障害者の中でも肢体不自由な方のご意見が多くなっていますが、その他の障害をもつ方のご要望もあるかと思っておりますので、お気づきの点がありましたらご意見をお願いいたします。

(委員)

・アンケートにもあるように、出来る限り段差をなくしていただきたいと思います。
・目の不自由な方のための点字ブロックは、肢体不自由な車いす利用者にとっては障壁ではあるが、お互いに理解しあって行きたい。とにかく、駅舎周辺は平らにしてほしいと思うのは、市民の願いであり、現在の使い勝手が悪い状態では、車いす利用者からは利用価値がゼロに等しいと思います。

・北口駐輪場についても障害者用のスペースもあるが健常者の方が駐車しており使用できない状況等のモラルの問題もあります。

・アンケート結果については、これで十分とは言えないが、私どもとしては今回に限っては出されたご意見を反映できるように頑張ってきたと思います。

(委員)

・バスは何割くらいノンステップ化していますか、また、日中乗降客が少ない時間帯は小型バスにした方がよいのではと考えますが、どのような考えがあるのかお聞きしたいと思います。

(委員)

・乗降客調査等の結果から日中の少ない乗降客の時間帯は、現在、バスとデマンドタクシーで役割分担して対応しています。

・小型バスの導入については、デマンドタクシーに切り替わっていく流れの中でも考えていかななくてはならない問題ではありますが、現在の車庫が狭くすぐに導入す

ることが難しい状況です。今後、車庫スペースの確保をしながら小型バスの導入を検討していきたいと思います。

(議長)

- ・今回の協議については、アンケート調査結果についてありのままについて確認していただくこと、それに対して皆様が現時点でどのような感想を持ったか、今後の検討の参考にさせていただくことだと思います。今日のご意見について、採用、不採用を決めるものではないことをご了解いただきたいと思います。

(1) - 2 基本的な方針

(議長)

- ・それでは、次の議題に移りたいと思います。
- ・資料1-2 基本的な方針について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

- ・資料1-2 基本的な方針について説明

<上野原市交通バリアフリー基本構想策定にあたっての基本的な考え方>

(現状)

- 市外への通勤・通学は全体の約40%を占める
- 上野原駅は県内で2番目に乗降客数の多い駅であり山梨県の東の玄関口
- 市の高齢化率は28.66%と全国平均よりも高く今後も着実に高齢化が進展
- 自動車を運転できない人口が増加し、鉄道やバス等の公共交通の重要性が高まっていくことが予想される

(課題)

- 急峻な地形に駅舎が位置し地形的なバリアが課題
- スロープ等によるバリアフリー化は困難であり、エレベーター等による上下移動施設や、バス、タクシー、自家用車等による移動手段に頼らざるを得ない状況
- 鉄道駅を中心とした交通結節点におけるバリアフリー化推進を図る必要性は高い状況にあるものの、一般的な市街地よりも地形的制約が大きく、より重点的かつ効果的なバリアフリー化を図っていくことが必要

「バリアフリー基本構想策定にあたっての基本的な考え方」

国の目標年次に合わせて平成32年度を目標年次とし、まず根幹となる交通結節点の鉄道駅を中心にバリアフリー化を重点的に推進します。平成32年度以降、順次範囲を拡げていくこととします。このことから以下の3項目を掲げます。

- 平成32年度までの事業実現性に留意（目標年次：平成32年度）
- 鉄道駅を中心とした地区におけるバリアフリー化を重点的に推進
- 効果的に高齢者や障害者等の移動や施設の利便性・安全性の向上の推進

<上野原駅周辺地区における基本的な方針>

現況課題や関連事業も踏まえ以下の基本的な方針を定めます。

- 交通結節点である駅および駅前広場等の重点的なバリアフリー化の推進
- 交通結節点整備と併せたバスやタクシー等の交通機関の一体的なバリアフリー化の推進（駅北口へのバリアフリー化された移動手段の確保）
- 駅南口の都市基盤整備と併せ主要な施設までのバリアフリー化の推進

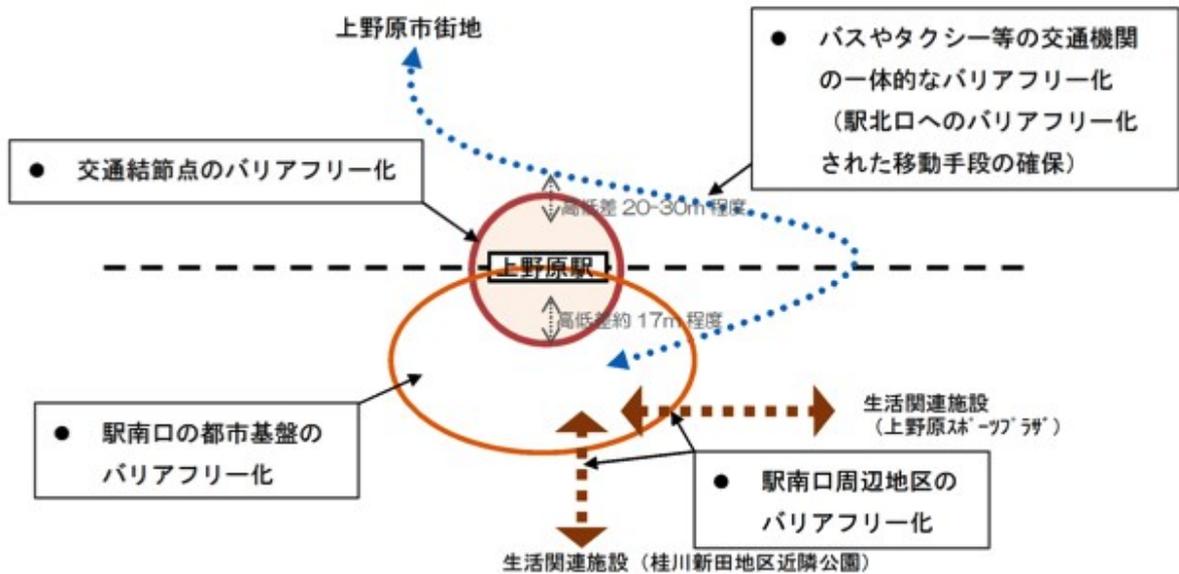


図. 上野原駅周辺のバリアフリー化のイメージ

(委員)

- ・北口の問題ですが、人がどう流れているかを観察してほしいと思います。
- ・殆どの方が北口側に降りるが、バスに乗る人は多くはなく、階段を登った方が家に近い人もいます。エスカレーターを設けてもらったら喜ぶ人が多いと思います。
- ・南口にエレベーターが出来ても、北口の階段を使う人もいます。
- ・北口の問題を、この基本的な方針の考え方のように、切り捨てられても困ります。

(委員)

- ・駅周辺ということだが、バリアフリー基本構想は、まち全体を見渡して考えるべきで長期的にどのようなようになるのかを絵に描いてほしいと思います。
- ・国道 20 号の拡幅も難しいので、地域毎にどうなるのか長期計画を示した方がよいと思います。

(委員)

- ・p7 中段 11 行目の「～、南口の面的整備に併せて駅前広場が整備される予定です。」は、併せて北口に駅前広場が整備されると勘違いするので「～、南口の面的整備により駅前広場が整備される予定です。」など記載を工夫したほうがよいと思います。

(議長)

- ・私の意見を述べますと、アンケートでも市全域にわたって課題が挙がっています。市全域をやらないとは言っていないが、一定のエリアを決めて順次整備していこ

うということだと受け止めています。皆様は如何でしょうか。

- お話があった北口の問題ですが、私も駅周辺整備検討委員会の委員長をやっております。少しずつ事業も進んでいるところで、北口にまったく手を付けないという訳ではない。このような整備では色々なことが影響してくる、地形の問題、法律上の問題、関連道路の問題、土地利用の問題、など色々な問題を兼ね併せて、果たしてそれが出来るかどうかという判断をしながら作業を進めている訳です。委員がご指摘されている問題について、十分踏まえながら今後検討してもらえればよいと思います。

(委員)

- 主要地方道四日市場上野原線の上野原駅南側に降りていく中原製材所付近のカーブはどうなるのか。あそこは怖いので、出来るだけあそこは通りたくないのですが、内側の方にどれだけ切り込めるのか教えてほしいと思います。

(委員)

- 今のご質問にわかる範囲でお答えします。市の上野原駅南口駅前広場整備に併せて道路を改修することとなり、市と一緒に進めているところです。
- 今までに2回地元説明を行い、直角カーブを出来るだけ中原製材さん側に切り込んでいきたいと説明を行っている段階で、どこまで切り込むかについて検討中です。

(議長)

- この協議会はバリアフリーについて検討しています。これに関連して、駅周辺整備に関する事業が進んでおり、都市計画審議会では風致地区をどうするかの特例を検討しており、市全体の計画が必要ではないかというご意見もございましたが、都市計画マスタープランを検討しており、上野原市の都市計画の基本的な考え方を話し合っているところです。このような協議が平行して進んでいるので、皆様からのご意見について、これらと連携しながら効果的に反映できればと思います。

(委員)

- 乗降客を観察する意見に賛成です。
- 大学生や山登り客もたくさんいるため、この方々の居場所となるスペースがないので、仕方なく障害者用スペースを使ってしまったりするのではないのでしょうか。
- 学生や登山客も市のお客さんなので、上野原の玄関口として利用されるため、印象もよくなるよう、よい環境にしてほしいと思います。

(議長)

- 皆様からの重要なご指摘も参考にさせていただきながら、この基本的な方針に沿って、重点を絞って、事業を効率的に進めていくことで宜しいでしょうか。

～ 委員一同、異議なし ～

(議長)

- それでは、承認ということで宜しく願いいたします。ありがとうございました。

(2) 四方津駅周辺地区の検討

(議長)

- ・ それでは四方津駅周辺地区の検討に入りたいと思います。
- ・ 議事に先立ちまして、3つ確認させていただきます。
- ・ 1つ目は、この会議は27名の委員のうち、先ほど1名退席されたため、代理出席の方も含めて出席者25名で過半数を超えていますので成立していることを確認いたします。
- ・ 2つ目は、先ほどと同様、傍聴の方がいることを確認いたします。
- ・ 3つ目は、検討地区ごとに議事録署名委員を割り振りしたらどうか確認します。異議がありませんので、名簿上から続いて森本万里子委員と大神田光司委員をお願いしたいと思います。

(議長)

- ・ それでは、議事に沿って(2)-1 バリアフリーアンケート調査結果の報告について事務局より説明をお願いします。

(2) -1 バリアフリーアンケート調査結果の報告

(事務局)

<スライドにて目的、調査対象範囲について説明>

アンケート調査の目的としては、バリアフリーのまちづくりを重点的かつ一体的な推進を図るため、高齢者や障害者等がよく利用する施設が集積し、その間の移動が通常徒歩で行われる地区(駅を中心に半径500m圏程度)において、

○生活関連施設(よく利用する施設)

○生活関連経路(施設と施設をつなぐ経路)を設定します。

このため、アンケート結果より

○当市が考える生活関連施設、生活関連経路候補における課題の抽出

○市民が日常的に利用されている施設であり、バリアフリー法で特定事業として位置づけることが可能と思われる施設や取組などの抽出

を行います。

この作業により、4月に予定しているバリアフリー点検時の対象施設、経路を設定します。

次に、アンケート調査結果の概要ですが、

実施期間は、平成25年11月14日～平成25年12月9日で

調査対象は、

- 上野原市区長会、上野原地区区長会、島田地区区長会、巖地区区長会に配布数60
- 上野原市老人クラブ連合会に配布数10
- 上野原市身体障害者福祉会に配布数10
- にこにこママクラブに配布数10

に上野原駅周辺地区、四方津駅周辺地区の両地区のアンケート票をセット配布し、どちらか1地区選択または両地区選択を判断して回答いただくよう依頼しました。

回収数は、上野原駅周辺地区 30 票、四方津駅周辺地区 27 票となっています。

なお、バリアフリーアンケートの対象区域については、第 1 回協議会での意見を踏まえ、アンケート記入用紙の地図範囲を駅から 1km 圏域に拡げて調査実施しました。

(議長)

- ・委員の皆様からご意見等があればお願いします。

(委員)

- ・参考資料 2 の黄色マーカーと資料 2 - 1 が合致していない箇所が 3 点あるがどちらが正しいのでしょうか。

(事務局)

- ・参考資料 2 が正しいので、資料 2 - 1 を訂正します。

<資料 2 - 1 訂正事項>

p2 J R 四方津駅（駅前広場）－駅前広場（歩道等）－その他のバリアフリー関連課題欄の記載の「駅前広場正面階段のバリアフリー化」をバリアフリー特定事業関連課題欄に移動

p2 J R 四方津駅（駅前広場）－駐車施設－その他のバリアフリー関連課題欄に記載の「障害者専用駐車スペースの設置」をバリアフリー特定事業関連課題欄に移動

p3 生活関連経路候補④（駅～コモアブリッジ）のその他のバリアフリー関連課題欄に記載の「コモアブリッジ～国道 20 号歩道橋～駅舎をバリアフリー化した経路でつなぐ」をバリアフリー特定事業関連課題欄に移動

(委員)

- ・駅舎を橋上化した場合に、トイレを改札の同じ階に設置してほしいと思います。
- ・子ども達が登下校の際、国道の歩道が狭いので車道を歩いてしまうので、歩道を拡げて柵を設けてほしいという長年の要望が多いのでお願いしたいと思います。

(委員)

- ・四方津駅は、上野原駅と同じようにバリアフリー化すべきところが多々あると感じています。
- ・資料 2 で緑文字の部分「コモアブリッジ～国道 20 号歩道橋～駅舎を連続させたバリアフリー化」が、コモアの住民にとって最大の課題であるので、この課題を織り込んだ基本構想としていただきたいと思います。

(委員)

- ・事務局に質問がありますので、後日回答をいただきたいと思います。
- ・P2 生活関連経路候補②（国道 20 号）－コモアしおつ入口交差点－「・横断標識の整備」とありますが、横断歩道には通常、規制標識は設置しないので、警戒標識的な意味合いでよいのか確認をお願いします。
- ・バリアフリー関連では、歩行者用信号が対象となるのですが、課題となっている信号機が、歩行者信号ということで宜しいか確認をお願いします。
- ・なお、信号機設置については横断需要、車両需要、地形、その他諸条件を検討しなければならず、すぐに回答できるものではないので、長い目でみていただきたいのと、必ずしもご要望通りにならないということもご承知おきいただきたいと

思います。

(議長)

- ・今いただいた質問についても、可能であれば確認し回答したいと思います。
- ・また、アンケートのご意見についても、包括的な意見が述べられているので、それを私どもがどのように受け止めるかも大事ではないかと思えます。

(委員)

- ・上野原でも出ましたが、四方津駅にも北側と南側があります。南側のトーンが大分下がっているように思うが、南側も一緒に検討していくということで宜しいでしょうか。

(議長)

- ・南北ともにバリアフリー化について検討する予定です。特に北側に限定している訳ではありません。

(委員)

- ・国道 20 号の歩道についての課題が多く挙がっているが、当方も課題として認識しています。
- ・出来るものについては直ぐにやりたいと考えていますが、歩道がない、狭いというところを拡げるとなると、土地が必要となりますので、地元の皆様にご協力をいただくこととなり、多少時間が掛かると思えます。
- ・必要性についても調査を行っていく必要があることから、時間が掛かることとなりますが検討を進めていき、優先順位を付けながら取り組んでいきたいと思えます。

(2) - 2 基本的な方針

(議長)

- ・それでは、次の議題に移りたいと思えます。
- ・資料 2 - 2 基本的な方針について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

- ・資料 2 - 2 基本的な方針について説明

<上野原市交通バリアフリー基本構想策定にあたっての基本的な考え方>

(現状)

- 市外への通勤・通学は全体の約 40%を占める
- 市の高齢化率は 28.66%と全国平均よりも高く今後も着実に高齢化が進展
- 自動車を運転できない人口が増加し、鉄道やバス等の公共交通の重要性が高まっていくことが予想される

(課題)

- 急峻な地形に駅舎が位置し地形的なバリアが課題
- スロープ等によるバリアフリー化は困難であり、エレベーター等による上下移動施設や、バス、タクシー、自家用車等による移動手段に頼らざるを得ない状況
- 鉄道駅を中心とした交通結節点におけるバリアフリー化推進を図る必要性は高い状況にあるものの、一般的な市街地よりも地形的制約が大きく、より重点的かつ効果的なバリアフリー化を図っていくことが必要

「バリアフリー基本構想策定にあたっての基本的な考え方」

- 平成32年度までの事業実現性に留意（目標年次：平成32年度）
- 鉄道駅を中心とした地区におけるバリアフリー化を重点的に推進
- 効果的に高齢者や障害者等の移動や施設の利便性・安全性の向上の推進

＜四方津駅周辺地区における基本的な方針＞

現況課題等を踏まえ以下の基本的な方針を定めます。

- 四方津駅のバリアフリー化と併せた道路・通路等の一体的なバリアフリー化の推進
- 四方津駅から主要な施設までのバリアフリー化

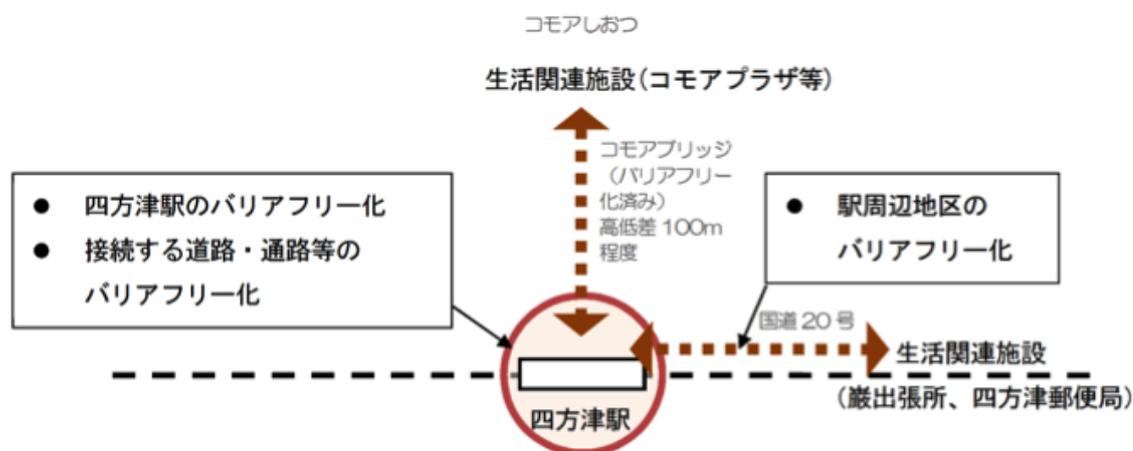


図. 四方津駅周辺のバリアフリー化のイメージ

(委員)

- ・駅南側の奥平集落へ行くトンネルについて、線路で地域が分かれてしまっていることも課題として忘れずにお願いしたいと思います。

(委員)

- ・基本方針はハード面について記載されていますが、基本構想策定の際には、是非、心のバリアフリーについても記載をお願いしたいと思います。
- ・ハード整備を折角行っても、モラルやマナーによるバリアもあるので、心のバリアフリーの醸成を図っていくことが重要です。

(議長)

- ・皆様からの重要なご指摘も参考にさせていただきながら、この基本的な方針に沿って、進めていくことで宜しいでしょうか。

～ 委員一同、異議なし ～

(議長)

- ・それでは、承認ということで宜しくお願いいたします。ありがとうございました。

(3) その他

(議長)

- ・それでは、その他について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

- ・資料3：策定までのながれ、資料4：バリアフリー点検についての説明

(議長)

- ・「資料3：策定までのながれ」の予定で進めて宜しいでしょうか。

～ 委員一同、異議なし ～

(議長)

- ・「資料4：バリアフリー点検について」については、如何でしょうか。

～ 委員一同、異議なし ～

(議長)

- ・参加者の方には後日詳細について連絡があるのでしょうか。

(事務局)

- ・各団体とご相談して日程等を調整していきたいと考えています。
- ・参加者、開催日が決定いたしましたら、皆様に開催通知を発送することになると思いますが、4月頃開催ということをご了承いただきたいと思います。

(議長)

- ・それでは、資料3、資料4についてご了解いただいたということで宜しいですね。

～ 委員一同、異議なし ～

(議長)

- ・それでは、他に事務局から何かあればお願いいたします。

(事務局)

- ・一つ目は、上野原市交通バリアフリー基本構想策定協議会の名称について、でございますが、前回の会議におきまして、飯島会長より、協議会の名称から「交通」という字句を取り「上野原市バリアフリー基本構想策定協議会」としたほうが良いのではないかとのご指摘がございましたので、この件につきまして、改めまして委員の皆様のご承認をいただきたいと思います。

ご承認いただければ、今後規則改正の事務手続きをさせていただき、次回の会議からは新しい名称で取り扱わせていただきたいと思います。

また運営規程につきましても、同様に名称変更に伴う改正を行わせていただきたいと思います。

～ 委員一同、異議なし ～

(議長)

- ・その他委員の皆様から何かあればお願いします。なければ議長の役目を終わらせていただきます。

(4) 議長解任

4. その他

(委員)

- ・今後、傍聴する方が増えていくと思います。傍聴している方に資料が配付されておらず話がわからないと思うので、傍聴者にも資料配付したら如何でしょうか。

(事務局)

- ・資料配付については、例えば、アンケート調査結果についても、多目的トイレが

あるのに無いというような間違っただ誤解を生む回答があることや、一部の資料だけが流出し、言葉の定義や事業の趣旨や脈絡がわからず誤解を生むことも考えられることが今回資料配付をしなかった理由です。

- ・今後の対応については、事務局内部で検討し次回ご報告したいと思います。

5. おわりのことば

(事務局)

- ・それでは、本日の次第の最後になります「おわりのことば」を川島副会長にお願いしたいと思います。宜しくお願いいたします。

(川島副会長)

- ・長時間ご苦労さまでした。多くの方からご意見をいただき、今後、構想を策定するにあたり非常に参考になったと思います。まだまだ、付け加えたいことが出てくるかと思いますが、事務局の方へご一報いただきながら、より素晴らしい構想を策定し、両駅のバリアフリー化が実現できるようにしていきたいと思います。これから着実に進んでいくように我々も努力し、事務局にも頑張っていたきたいと思います。本日の会議はこれで終了としたいと思います。ありがとうございました。